

平成22年度当初予算 重点的な取組別概要
 <重点事業>

元氣1：「人間力」の向上／みえの人づくり（主担当部：教育委員会）

<重点事業の目標>

少人数教育の取組や校種間の連携、スポーツによる人づくりを通じて、次代を担う子どもたちが、基礎・基本の学力だけでなく、それを実生活のさまざまな場面で活用する力やコミュニケーション能力、公共心や規範意識などをしっかりと身につけ、それぞれの個性や能力に応じて、将来、自立した一人の人間として社会に参画し、力強く生きていけるよう、「人間力」を高めるという視点を大切にした「みえの人づくり」を進めていきます。

<構成事業（担当部）>

- (1) 30人学級をはじめとする少人数教育推進事業（教育委員会）
- (2) 育ちのリレー推進事業（教育委員会）
- (3) 特別支援教育総合推進事業（教育委員会）
- (4) 信頼される教職員人材育成・自ら創る学校支援事業（教育委員会）
- (5) 地域スポーツ・競技スポーツサポート事業（教育委員会）

<重点事業の事業費>

（単位：千円）

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
策定時の見込額 ※1	1,888,503	1,963,000	2,018,000	2,035,000
予算額等 ※2	1,838,077	1,901,813	1,949,825	2,007,241

※1 第二次戦略計画策定時における計画記載額

※2 H19, 20年度は決算額、H21年度は予算現額、H22年度は当初予算額

<重点事業の数値目標> 21年度実績値は1月末現在で把握できる見込み値を示しています。

数値目標項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
学校に満足している児童生徒の割合	目標値	—	70.5%	72.0%	73.5%	75.0%
	実績値	68.8%	70.9%	72.7%	74.5%	

※ 小学校5年生、中学校2年生、高等学校2年生の児童生徒を対象とする「学校生活についてのアンケート（授業内容の理解、質問できる雰囲気、相談できる雰囲気、学校生活の安心感、目的意識の有無、学校施設への満足感の6項目）」の平均値から算出した、学校に満足している割合

<構成事業の目標> 21年度実績値は1月末現在で把握できる見込み値を示しています。

事業目標項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
(1) 授業内容を理解している小中学校の児童生徒の割合	目標値	—	85.5%	87.0%	88.5%	90%
	実績値	83.8%	85.6%	85.2%	86.0%	
(2) 育ちのリレー推進会議を開催している市町数	目標値	—	7市町	14市町	21市町	29市町
	実績値	—	7市町	14市町	21市町	

(3) 個別の教育支援を策定している学校の割合	目標値	—	60%	70%	80%	100%
	実績値	48.2%	64%	71%	81.1%	
(4) 学校経営品質に基づき改善活動に取り組んでいる学校の割合	目標値	—	52%	62%	82%	92%
	実績値	42%	59%	78%		
(5) 総合型地域スポーツクラブ数	目標値	—	48 か所	51 か所	54 か所	57 か所
	実績値	45 か所	50 か所	50 か所	54 か所	

<進捗状況（現状と課題）>

- ・ 子どもたち一人ひとりに応じた教育を推進してきましたが、引き続き学習意欲を高める取組や指導方法の工夫改善などにより、学力の定着・向上につなげるとともに、楽しく安心して学校生活をおくることができるよう、校種間連携を一層深め、学習面や生活面での課題を解決していく必要があります。
- ・ 障がいのある子どもたち一人ひとりの自立や社会参画を支援するため、福祉、医療、労働等の関係機関とも連携しながら、特別支援教育を充実させる必要があります。
- ・ 子どもたちや保護者、地域から信頼される学校づくりを進める必要があります。
- ・ スポーツに親しむ機会の充実や、競技力向上への支援を通じた次世代の人づくりが求められています。

<平成22年度の取組方向>

- ① 30人学級をはじめとする少人数教育を推進するとともに、就学前から学校教育全体を通じた一貫した人づくりを進め、子どもたちの学力・人間力を高めます。特別支援教育については、障がいのある子どもたち一人ひとりの能力や可能性を伸ばし、自立や社会参画を支援するため、早期からの一貫した支援体制と特別支援学校における教育活動を一層充実させます。
- ② 三重県型「学校経営品質」向上活動による継続的な改善や、研修内容の充実等による教職員の資質向上に取り組み、信頼される活力ある学校づくりを進めます。
- ③ 競技力の向上に取り組み、国内外で活躍できる選手を育成するとともに、県民の多様なスポーツニーズに対応するため、総合型地域スポーツクラブの設立支援に取り組みます。

<主な事業>

- ① 少人数教育推進事業（事業(1)の一部）

（第10款 教育費 第2項 小学校費 1教職員費）

（第10款 教育費 第3項 中学校費 1教職員費）

予算額：(21) 1, 364, 674千円 → (22) 1, 421, 991千円

事業概要：小中学校において、各学校の実情に応じ、少人数授業などの拡大をはかるため、教員の配置を拡充（小学校：35人→40人、中学校：8人→12人）し、きめ細かな少人数教育をより一層推進します。また、小学校1、2年生での30人学級（下限25人）及び中学校1年生での35人学級（下限25人、実情に応じて2年生あるいは3年生に弾力的に振替）を継続します。

- ② 学力向上支援事業【基本事業名：12202 児童生徒の基礎学力の向上】（事業(1)の一部）
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(21) 14,240千円 → (22) 14,272千円
事業概要：児童生徒の学力の定着・向上をはかるため、授業方法や評価方法等の工夫改善や補充学習への取組を支援します。また、新学習指導要領に関する説明会を開催し、円滑な移行・実施を支援します。（新学習指導要領実施説明会：小学校説明会3回、中学校説明会3回を開催）
- ③ 学びのステージ創造推進事業
【基本事業名：12202 児童生徒の基礎学力の向上】（事業(2)の一部）
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(21) 2,534千円 → (22) 2,621千円
事業概要：子どもたちが就学前から中学校までの発達段階に応じ一貫した教育を受けられるよう、地域、幼稚園、保育所、小学校、中学校間の連携を深めて様々な課題を解決し、子どもの健やかな育ちを支援します。（8市町実施予定）
- ④ 高校活性化推進事業【基本事業名：12201 教育改革の推進】（事業(2)の一部）
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 2事務局費）
予算額：(21) 5,256千円 → (22) 4,545千円
事業概要：時代の変化や生徒の多様なニーズに対応して特色化、魅力化をはかる高校の取組を支援するとともに、地域に設置した協議会と連携して高校の再編活性化を推進します。また、コミュニティ・スクールの制度普及を推進するとともに、3地域で取り組んでいる連携型中高一貫教育実施校への支援を行いながら、今後の中高一貫教育のあり方についても研究します。
- ⑤ 学校・地域との協働によるキャリア教育実践事業
【基本事業名：12203 特色ある教育の推進】（事業(2)の一部）
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(21) 42,437千円 → (22) 32,696千円
事業概要：系統的なキャリア教育を推進する小中学校、高校の実践に対する支援や、キャリア教育推進のリーダーとなる教員等の養成と活用を進めるとともに、就職を希望する高校生の進路実現がはかれるよう就職支援を行います。
- ⑥ スクールカウンセラー等活用促進事業
【基本事業名：12205 健やかな心を育む教育の推進】（事業(2)の一部）
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(21) 170,045千円 → (22) 175,752千円
事業概要：子どもたちの心の問題に対応できるよう学校の相談体制を充実させるため、小中学校及び高等学校に、専門的な知識や経験を有するスクールカウンセラー（合計220校）を配置するとともに、福祉的なアプローチにより課題の解決をはかるため、スクールソーシャルワーカー（3人）を配置します。

- ⑦ 特別支援教育総合推進事業【基本事業名：12204 特別支援教育の推進】（事業(3)の一部）
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(21) 3,463千円 → (22) 14,936千円
事業概要：特別支援学校が地域におけるセンター的機能を発揮できるよう、教員の専門性の向上に係る取組を支援するとともに、小中学校等に在籍する発達障がいのある子どもたちへの適切な指導や助言が行えるよう支援体制の充実をはかります。
- ⑧ 障がい児者就労・自立支援事業【基本事業名：12204 特別支援教育の推進】（事業(3)の一部）
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(21) 5,783千円 → (22) 6,238千円
事業概要：特別支援学校高等部を卒業する生徒の進学先及び就労先を確保するため、関係機関と連携して、進路の開拓及び適切な進路指導を行うとともに、新しい職業訓練システムである「日本版デュアルシステム」を導入（1校）し、就労率の向上をはかります。
- ⑨（一部新）トップアスリート養成事業
【基本事業名：13202 競技スポーツの充実】（事業(5)の一部）
（第10款 教育費 第7項 保健体育費 2体育振興費）
予算額：(21) 95,491千円 → (22) 93,802千円
事業概要：一貫した指導体制のもと、競技者の発達段階に応じた適切な指導を実施する各競技団体を支援し、国内外の大会で活躍できる選手の育成と指導者の資質向上をはかるとともに、一貫指導システムとして、ジュニア競技者の発掘、育成を行うための調査を実施します。
また、世界新体操選手権の開催を記念し、国内トップクラスの指導者及び選手を招待し、県内選手等を対象にした実技講習会等を開催します。